

地域ネットワークだより



世界自然遺産5地域

大阪・関西万博に集結 ～4K大画面で魅力発信～

6月5日、大阪・関西万博で日本の世界自然遺産に登録されている5つの地域が連携して、人々の暮らしと世界的価値を有する自然とを両立させる「共生」や「環境文化」という日本型自然保護の理念を国内外に発信しようと「千の自然・千の時間～私たちと世界自然遺産5地域」がありました。



このイベントでMBCは4Kの大画面映像で各地域の魅力を紹介する映像制作をプロデュースし、MBCサンステージが伝統芸能の舞台進行を担当しました。

これは国内の5つの世界自然遺産に関する23市町村と屋久島環境文化財団などで構成する世界自然遺産5地域会議が主催したものです。イベントではまず、世界自然遺産地域で暮らす小中学生による作文コンクールの表彰式がありました。



学生による作文コンクールの表彰式がありました。

各地域で最優秀賞に選ばれた10人が登壇し、受賞者を代表して瀬戸内町古仁屋中学校2年生の脇田勇波さんが、自転車を走らせながら受ける風から海や山の恵みを感じ、同時に人の温かさに触れることができます。

そして地域ごとに4K大画面映像でそれぞれの特徴や魅力を俯瞰した後、各地域のナビゲーターが現状や課題を報告。

続く伝統芸能のコーナーでは屋久島地域からは楠川盆踊り保存会、

▲古仁屋中2年 脇田勇波さん

奄美地域からは里朋樹さんを唄う関西奄美会が登壇しました。中でも島唄のトリを飾ったワイド節～六調～では客席側から大勢が飛び入り参加し、場内が一体となった踊りの輪に盛り上がっていました。



▲会場全体を巻き込んだ六調



▲屋久島・楠川盆踊り保存会

なお、当日の模様は屋久島環境文化財団のHPから動画で視聴することができます。





2005年7月7日
曾於市誕生



2010年3月
曾於弥五郎インター供用開始



2014年4月
曾於高校開校式・入学式

豊かな自然の中で
みんなが創る笑顔輝く元気なまち

曾於市 市制施行20周年

平成の大合併から20年あまりが過ぎ県内の様々な市町で節目の式典が開かれています。

6月には曾於市で市制20周年を祝う記念式典が開催されました。



2021年4月3日
満ノ口洞穴 国の天然記念物に指定



2024年4月1日
南九州畜産獣医学拠点 オープン



2025年
弥五郎どん祭り 国の重要無形民俗文化財に登録

6月28日(土)会場
の曾於市末吉総合センターには、約800人の市民らが集まり市制20周年の節目を祝いました。2005年7月に末吉町、大隅町、財部町の3町が合併して誕生した曾於市は、豊かな自然に恵まれ、農業や畜産業が盛んな地域です。大隅弥五郎太鼓の演奏で幕を開けた会場ではMBCが制作した曾於市の20年の歩みをまとめたアーカイブ映像が上映され、祝賀ムードを盛り上げました。曾於市では今年、市制施行20周年を記念して城山ホテル鹿児島で曾於市の食材を使ったメニューを味わう「曾於市フェア」や「弥五郎どん祭りシンポジウム」が行われます。

オープニングを飾った
大隅弥五郎太鼓
の演奏



曾於市公認キャラクター
「そあ星人」も
来場者をお出迎え

県内メディア防災会議開かれる

5月30日、MBCで「県内メディア防災会議」が開催されました。

これは、本格的な出水期を前に、防災への取り組みや過去の事例を共有し継続的な放送活動に生かそうと、県内のケーブルテレビやコミュニティFM、WEBメディアと毎年実施しているものです。

今回は奄美群島や大隅半島など県内一円から、16媒体20名が参加しました。



会議ではまず、MBCの亀田晃一ウェザーセンター長が、今年の夏の気象傾向などについて説明しました。

ラニーニャ現象の影響による太平洋高気圧とチベット高気圧の強まりのため、九州南部と奄美地方では暑さと大雨への警戒を呼びかけました。また、ウェザーセンターが今年で設立30年を迎えることを紹介し、参加した各メディアの方々に防災情報発信の連携を呼びかけました。

続いて、国の地震調査委員を務める、京都大学防災研究所の西村卓也教授とオンラインで結び、南海トラフ地震について詳しく解説していただきました。

過去の地震発生の頻度と現在のひずみの蓄積を示す観測データから、将来の南海トラフ地震の発生は確実視されています。西村教授は「災害リスクの観点から最も警戒すべき地震である」と述べ、常日頃の備えが最も重要なと強調しました。

参加した各メディアからは、台風の影響で通信設備が損傷し放送ができなくなった例や、少人数で工夫しながら放送を続けている現状などの報告がありました。また会議の様子は、当日の「かごよんフライデー」の中で生中継で紹介されました。

地域住民の生命と財産を守るために、MBCではこれからも県内メディアと連携しながら、防災、減災報道に力をいけています。



薩摩藩英國留学160周年 黎明祭



幕末に薩摩藩がイギリスへ留学生を派遣して、今年で160年になります。

留学生たちの出発地となつたいちき串木野市で、

6月8日に記念祭が開かれました。



薩摩藩は薩英戦争に敗れたあと、イギリスの近代的な知識や技術を学ぼうと使節団を結成し、1865年、現在のいちき串木野市・羽島浦（はしまうら）から出航しました。



渡航から160周年を記念し羽島小学校で開かれた「黎明祭」では、中学生も交えた歴史リレートークや、地元の青年学級による演劇が上演されました。



劇では、後に文部大臣となる森有礼ら留学生たちの渡航に至る道のりが鹿児島弁を交え演じられ、観客は日本の近代化に貢献した若者たちに思いをはせっていました。

この模様はMBCテレビ「かごよんフライデー」で6月20日放送しました。



▲取材 映像メディア部
久保穂華ディレクター（2025年入社いちき串木野市出身）

地元でありながら初めて参加した黎明祭。力の入った演劇やパフォーマンス、会場いっぱいの観客。留学生の偉業を今に伝える羽島の方々に感動しました。この模様を多くの方にお伝えしたいと思います。

MBCアーカイブスより



「薩摩藩英國留学生渡欧の碑」除幕式

（1982年3月MBCニュースより）

串木野市とMBCが
長崎鼻公園（串木野市）に建立。
その後、留学生が出発した羽島に移設

